

# 平成28年度 南魚沼市算数部 活動報告

部長 村山 稔（第二上田小）

## 1 研修主題

「児童の学ぶ意欲を高める授業力の向上」

\*各校児童の実態や授業経験の差を踏まえ、授業力の向上を図る研修とする。

## 2 研修の概要

会員の授業力向上を図る研修を市学習指導センターの研修事業を柱にして取り組んだ。会員校の児童の実態や教職経験の差を踏まえて、各会員の授業力が向上するように教材研究、学習課題などの指導技術にかかわる研修を推進し、参加者の好評価を得ることができた。

## 3 研修の実際

### (1) 研修推進計画の検討

組織と研修主題の確認と研修推進計画の検討5/2（六日町中）

### (2) 研修計画（南魚沼市学習指導センターとの共催：\*印を含む）

期 日	会 場	内 容	指導者、授業者
7 / 5（火）	大和庁舎	*低学年教材開発	市センター主事 田村 剛 様
8 / 2（火）	塩沢公民館	*中学年教材開発	市センター主事 田村 剛 様
8 / 5（金）	教育会館	*高学年教材開発	市センター主事 田村 剛 様
8 / 19（金） 9:30~11:30	塩沢公民館 視聴覚室	各自の授業実践 基礎研修	第二上田小 村山 稔 基礎研修「問題と課題の違い」
9 / 20（火）	六日町小	*授業と講演	筑波大学附属小 大野 桂 様
10 / 26（水）	第一上田小	*公開授業	授業者 東條 秀大

※ 8/19（金）各自レポート「私の授業課題と改善策」を持参したグループ研修

## 4 成果

(1) 5月の計画段階で4~5名単位のグループ編成を提示したため、8月のレポート研修は12年目研修と重なった会員以外は、全員参加となった。

(2) 8月研修では、学習問題と学習課題の違い、学習課題に対応するまとめなど、授業の構成にかかわる基礎研修が、5割以上を占める2校目までの会員を中心に役立った。

(3) 10月公開授業では、児童の実態に配慮した教材と個別の指導が提案され、参加者の研修を促す場となった。

## 5 課題と解決策

課題：5月に作った4~5名単位のグループ内でメールなどを使った日常の研修を提案したが、会員相互の研修は、ほとんど図られなかった。そこで、次年度は次のように改善する。

(1) 4~5名単位のグループ体制は中学校区を中心に編成し直す。

(2) 中学校区の複数区内で、それぞれ授業者、推進委員を決め授業力向上に取り組む。

(3) チーム内での研修がはかどるように各校での研修（算数授業研究の指導案やまとめ、個人研修の成果と課題など）交流を図る。